



NEWS RELEASE

2015年11月10日
コベルコクレーン株式会社

コベルコクレーン 2015年9月中間期 決算概要

【2015年9月期の市場概況】

当事業年度の国内クローラクレーン市場は、関東を中心に東京オリンピック関連施設・都市再開発などによる旺盛な需要が続ぎ、国内需要は前年同期比5%強増の260台程度（以下台数は全て当社推定）となりました。

海外市場はエリアごとにばらつきがありますが、全体では需要は前年同期比約1割減の1,100台程度となりました。エリア別市場動向については、世界総需全体の20%前後を占める北米ではシェール関連需要の減速を上回るプラント・インフラ建設需要により約1割、西欧では内需拡大の英国を中心に2割強、中東で3割強の需要増となりました。一方、世界総需全体の20%前後を占めるAPACでは、原油価格の低下、中国経済の低迷などにより、東南アジアを中心に需要が大幅に減少し、前年同期比2割弱の減となりました。また、世界総需全体の30%前後を占める中国市場は依然として伸び悩んでおり、インド市場も本格回復には至っておりません。

このような市場環境の変化の下、生産・販売が連携して柔軟な対応を行うことで受注の最大化を図り、台数・売上を伸ばした一方で、東南アジアおよび中国事業の採算悪化や整備工場の拡充や海外駐在員事務所設置等に伴う固定費増、製品の品質維持・改善のための費用の増加などもあり、2015年9月中間期の業績は以下の通りとなりました。

【2015年9月中間期の実績】 * 監査法人による会計監査前の数値となります。（単位：百万円）

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	2015年9月中間期	39,058	2,231	2,451	△1,636
	(前年同期比)	+8.8%	△36.7%	△23.1%	△163.1%
	2014年9月中間期	35,899	3,525	3,186	2,594

*2015年9月中間期には中国現地法人にて関係会社事業損失（特別損失）3,254百万円を計上しております。

【当社の取り組み状況】

国内販売においては旺盛な需要を背景に、前年同期比1割程度販売台数を伸ばしました。港湾向け用途のMK650、本格的な基礎土木向け用途のBM1500等顧客ニーズに合わせた新商品を投入し、好調な販売を継続しております。

海外販売においては、需要の減退に合わせて東南アジア向けの販売が減少しましたが、北米、香港向けの販売は好調に推移し、海外全体での販売台数は前年同期並みとなりました。

生産においては、ものづくり変革活動である「クロスラグプロジェクト」による受注生産方式のもと、海外向け機種のリードタイム短縮を実現しました。引き続き、国内向け機種のリードタイム短縮にも取り組んでまいります。

また、大型クローラクレーン事業の更なる飛躍に向け、本年7月、ドイツのフランクフルトに駐在員事務所を開設しました。大型クローラクレーンのメッカであるドイツに拠点を置くことで特に海外市場からの顧客の声を集約し、商品・市場戦略をまとめ次期中期事業計画へと繋げて参ります。

インド事業においては、僅かながら回復に向けた兆候があるものの、依然として需要が伸び悩む中、直接販売直接サービス体制のもとで需要を着実に取り込みました。また、増産投資により月産10台体制を整え、本年5月、日本からの委託生産によるアジア向け輸出機の販売を開始しました。

中国事業においては、海外プラント案件向け特需の取り込みなどにより前年比で販売台数が増加しましたが、採算面では引き続き厳しい状況が続いております。

また、日印中3生産拠点において同一の基準によるグローバル品質の確立に向けた活動を継続し、海外の顧客からも高い評価をうけるに至りました。

【2015年度の見通し】

国内のクローラクレーン市場は、一部エリアで建築資材の高騰、人材不足などにより工期の遅れが目立ち、やや減速傾向が出始めておりますが、国内全体の需要は関東を中心に引き続き高レベルで推移する見通しです。

海外市場においては北米、インドが増加する見込みですが、東南アジア・東アジアの一部地域で市場の減退傾向が見られ、需要は全体で前年比1割程度減少する見通しです。

市場の潮目が変わりつつある中、海外機種から国内機種への生産振替えなど、受注環境の変化に対応した柔軟な生産体制の構築と機会損失の最小化を図り、事業の安定に向けた体質強化を進めてまいります。

2015年度通期の売上高は、760億円程度、経常損益は35億円程度となる見通しです。

【2015年度通期の見通し】 (単位：百万円)

		売上高	経常利益
連結	2015年3月期	71,120	5,168
	2016年3月期	76,000	3,500

*2015年度下期における為替レート前提： 1米ドル=115円、1ユーロ=135円

*上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

平成27年9月期 決算業績概要

会 社 名 コベルコクレーン株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 塚本 晃彦
 問 合 せ 先 責 任 者 経営企画部長 山本 浩史
 株 主 株式会社 神戸製鋼所 (当社株式の保有比率：100%)

1. 平成27年9月期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年9月期	39,058	2,497	2,450	△ 1,635
26年9月期	35,899	3,525	3,186	2,594

	一 株 あ た り 当 期 純 利 益	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 営 業 利 益 率
	円 銭	%	%	%
27年9月期	△ 15,758.46	△ 6.0	3.6	6.4
26年9月期	24,998.20	8.8	5.4	9.8

(2) 連結財務状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	一 株 あ た り 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期	68,019	28,004	41.2	269,788.07
26年9月期	59,013	29,716	50.4	286,286.89